

# 2025 年度の鉄鋼需要見通し

2024 年 12 月 25 日  
一般社団法人 日本鉄鋼連盟

## 我が国経済／2025 年度は内外需ともに回復

**2024 年度** 内需主導で緩やかに回復している。個人消費は、物価上昇が継続するなかでも、賃上げに伴う実質所得の増加により、改善している。設備投資は高水準の企業収益を背景に、DX、脱炭素、省力化向けなどを中心に増加している。他方で、輸出は、海外経済に停滞感が見られるなか、伸びは鈍化している。

**2025 年度** 内外需ともに改善し、前年から回復は加速する。個人消費は、更なる賃上げに加え、物価上昇の減衰を背景とした実質賃金の改善により伸びが拡大する。設備投資は、脱炭素・DX・省力化などの投資を中心に回復が見込まれる。外需は、米国の通商政策など不確定要素はあるものの、世界的な利下げ局面のなか、世界経済は総じて回復基調を辿るとみられ、前年度比では増加の見通し。

## 鉄鋼需給／2025 年度の鉄鋼内需は前年度比微増

### 2024 年度

**鉄鋼内需** 内外需の減少や人手不足などを背景に前年割れを見込む。建設業では、土木部門が、国土強靱化5か年加速化対策などでの予算措置がなされていたが、人手不足や資材高などにより鋼材需要は抑制された。建築部門では、首都圏再開発など大型案件が下支えとなるも、人手不足や資材高による工事の見直しなどから中小案件では低迷が続いている。製造業では、造船部門が手持工事量を約 3 年分確保する一方で、人手不足などを背景に、起工量は前年割れが見込まれる。自動車部門では、認証不正問題もあり、生産活動が影響を受けた。また、機械部門では、建機が内外需ともに低調であったほか、工作機械も外需減速により減少した。

**鉄鋼外需** 前年度比では減少が見込まれる。

**粗鋼生産** 粗鋼生産は前年度比で減少が見込まれる。

### 2025 年度

**鉄鋼内需** 前年から微増を見込む。建設業では、土木部門が前年度並みの公共事業予算措置が見込まれるなか、資材価格高騰の一服もあり、僅かながらも増加の見通し。建築部門では、住宅が価格高から前年割れで推移するが、非住宅では人手不足は継続も、資材価格のピークアウトなどから、回復に向かうとみられ、建築全体では若干増加の見通し。製造業では、造船部門が昨年同様のフル稼働の建造が続き、前年横ばいを見込む。自動車部門では、完成車生産が前年の慎重な姿勢から通常の体制に戻る一方、KD セットについては、日系メーカーの海外現地生産が引き続き弱含むとの想定から、部門全体としては前年並みの見通し。機械部門では、建機が米国での在庫調整が一巡することもあり、需要量は増加の見通し。

**鉄鋼外需** 前年並みに止まる見通し。

**粗鋼生産** 粗鋼生産は前年度比微増となる見通しである。

**リスク** 中国の経済動向ならびに米国の通商政策動向

粗鋼生産の推移

